

はしがき

本書は、週刊科学雑誌 *Science News* を題材にした総合英語教材です。科学知識と情報の普及を目指す非営利団体が発行するこの雑誌は、平易な文章で科学の現場の「今」を伝えており、親しみやすく質の高い雑誌として人気を集めています。取材範囲の広さにも定評があり、まさにトピックの宝庫と呼びたいほどの豊富な話題が提供されています。その中から、「生物」「環境」「精神と脳の働き」「天文学」を含む15篇の話題を精選しました。

各ユニットは4ページ構成です。導入を兼ねた短い紹介文に続いて、英単語を日本語訳と一致させる **Vocabulary Check** を用意しました。重要な単語を確認し、抵抗なく本文に入っていただくのが目的です。

本文は、学習教材にふさわしく、整った構文でまとめられています。使いやすさに配慮し、必要に応じて注をつけました。「チンパンジーのジェスチャーの奥深さ」「通り道にくぼみを見つけたア리가とる驚くべき行動」といった、理系・文系にとらわれず興味をもてる内容がそろっています。

本文の特徴のひとつは、新発見や新説の紹介に終わらず、そこにいたるまでの調査・観察方法が丁寧に解説されていることです。「どのようにしてその発見が生まれたか」の過程をしっかりと理解すること、そこに正確な読解の鍵もあります。

練習問題は、内容把握に重点をおきました。**Comprehension Check 1**は、空所を補充しながら、本文全体の内容理解度が確認できる問題です。**Comprehension Check 2**では、文中の「新しい発見=**New Findings**」と「研究プロセス=**Research Process**」の両局面に焦点をあわせ、少し密度の異なるパラグラフに階層的にアプローチすることで、論旨の流れをリズムカルにとらえていただこうと試みました。

続いて、**Special Broadcast**です。本文のテーマに関するインタビューを行う「特別番組=**Special Broadcast**」を想定し、書きおろしの対話文を読みながら途中の空所を埋めることで、記事のキーポイントへの理解をさらに深めていただきます。**Special Broadcast**の狙いは、インタビューの質疑応答という形式を利用しつつ、本文とは違った角度でテーマをとらえてみたことです。たとえば、自律型ロボットをテーマにしたユニットでは、本文が技術進歩の「明」の部分を取り上げているのに対して、インタビューでは将来的に懸念される「暗」の部分にも言及しています。これとは別に、本文で使われている重要な用語に着目して、その詳しい説明を試みたユニットもあります。最後にしめくくりの練習問題として、語順並べ替え形式をとった英作文を置きました。

以上、本書は、学習教材として優れた読み物を材料に、英語力をバランスよくアップさせることを意図して作られています。知的好奇心を刺激する本文の面白さもさることながら、練習問題についても、いささか新しい工夫をもちこめたのではないかと自負いたします。

金星堂のみなさんには、企画、題材選定の段階から出版に至るまで、長期にわたって多大なお力添えをいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。